

国立大学法人小樽商科大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>3 その他の目標を達成するための措置 (なし)</p> <p>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置 (略)</p> <p>(2) 国際化に関する目標を達成するための措置 (略)</p>	<p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) <u>地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置</u> ①-ア <u>「地域のための大学」として、全学的な教育カリキュラム・教育組織の改革を行い、学生の地域に関する知識・理解を深めるとともに、地域の課題（ニーズ）と大学の資源（シーズ）の効果的なマッチングによる地域の課題解決を図る。更には地域社会と大学が協働して課題を共有しそれを踏まえた地域振興策の立案・実施まで視野に入れた取組を進める。</u></p> <p>(2) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置 (略)</p> <p>(3) 国際化に関する目標を達成するための措置 (略)</p>	<p>地（知）の拠点整備事業を推進するため。</p>

小樽商科大学

(備考)

1. 中期目標、中期計画共に変更する場合は、それぞれ別葉で作成してください。
2. 変更する箇所（現行、変更案両方）にアンダーラインを引いてください。
3. 変更のない項目については記載の必要はありません。
4. 組織等を記載する別表について、変更のない年度については記載の必要はありません。（変更のある年度については変更箇所だけでなくすべて記載）
5. 様式は、A4版横長用紙に横書きとしてください。
6. 新旧対照表の枚数が複数になる場合は、片面印刷とし、クリップ留めをしてください。また、ページを記載してください。

国立大学法人小樽商科大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 ①ーア 全学の委員会等の運営組織を検証し、改善を行う。 ①ーイ 学長の企画運営が効率的に機能する体制を充実させる。 ①ーウ SDを充実させ、教員と事務職員との連携・協働を推進する。 ①ーエ 教職員の業績評価の仕組みを検証し、改善を行う。 なし	II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 ①ーア 全学の委員会等の運営組織を検証し、改善を行う。 ①ーイ 学長の企画運営が効率的に機能する体制を充実させる。 ①ーウ SDを充実させ、教員と事務職員との連携・協働を推進する。 ①ーエ 教職員の業績評価の仕組みを検証し、改善を行う。 ①ーオ <u>教育研究組織の再編成等を見据え、現行の教育課程を見直し、新たな教育課程の構築を行うための教育研究組織の整備に向けた調査を行う。</u>	教育研究組織の再編成等を見据えた構想プロジェクト（調査費）を実施するため。

小樽商科大学

(備考)

1. 中期目標、中期計画共に変更する場合は、それぞれ別葉で作成してください。
2. 変更する箇所（現行、変更案両方）にアンダーラインを引いてください。
3. 変更のない項目については記載の必要はありません。
4. 組織等を記載する別表について、変更のない年度については記載の必要はありません。（変更のある年度については変更箇所だけでなくすべて記載）
5. 様式は、A4版横長用紙に横書きとしてください。
6. 新旧対照表の枚数が複数になる場合は、片面印刷とし、クリップ留めをしてください。また、ページを記載してください。